

しろいし

shiroishi city council paper

市議会だより

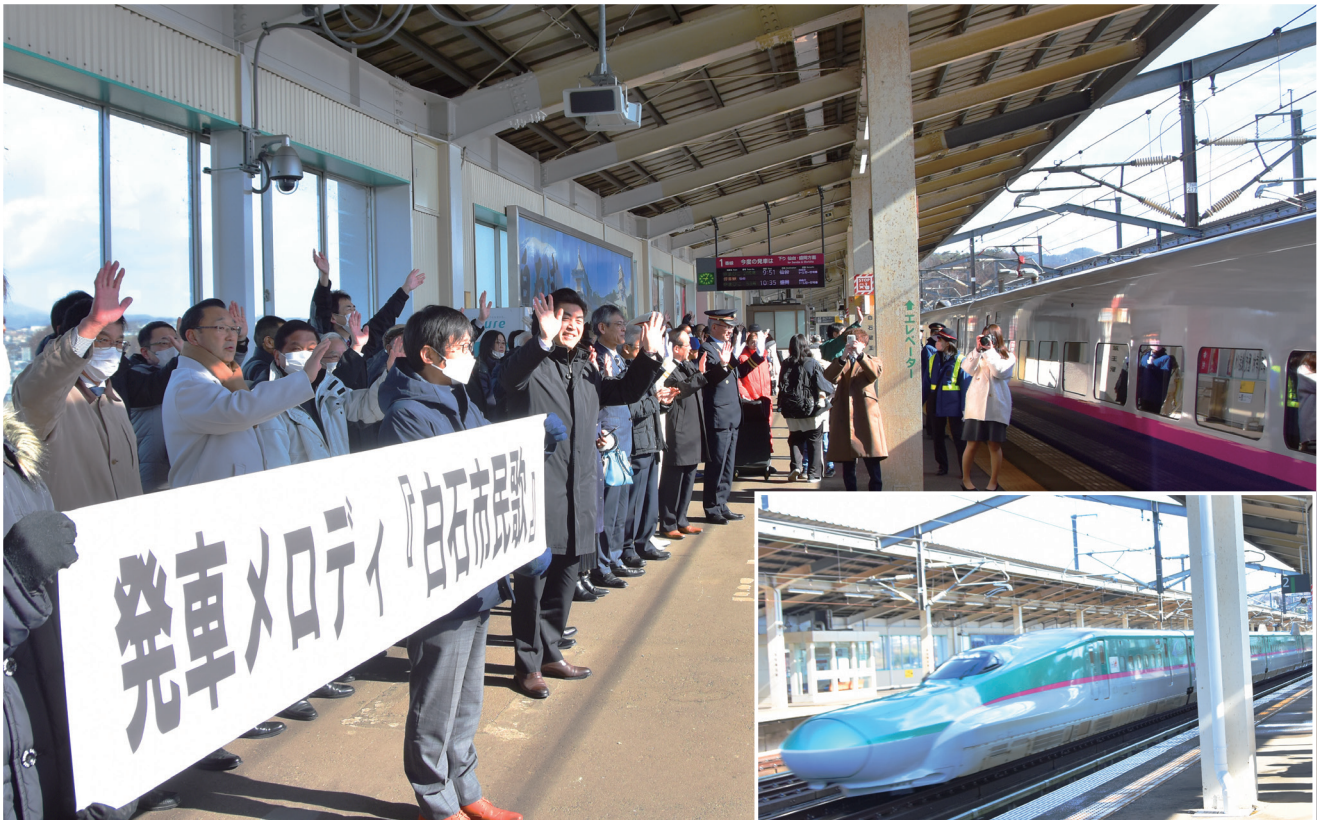
2024年

SPRING 春

第213号

市制施行70周年記念

JR白石蔵王駅発車メロディ開始(白石市民歌・白石音頭)



2～4P 2月定例会の概要・審議した議案
5～7P 予算審査特別委員会

8～13P 市政に対する代表質問・一般質問(11名)
14P 人事・議会の活動状況・編集後記

議会を傍聴しませんか？

6月定例会は、6月17日(月)午前10時開催予定です



インターネット中継



傍聴のしかた

2月定例会

**令和6年度一般会計当初予算
169億2千577万1千円を可決**

令和6年2月定例会は、2月19日から3月11日までの22日間の日程で開催されました。定例会初日、市長提出議案は、報告1件、人事2件、専決3件、条例11件、予算14件の計31件でした。市長の施政方針を受け、その後、全ての議案の提案理由の説明が行われ、このうち議案第1号から議案第6号は採決の結果、全会一致で同意・承認・可決しました。代表質問および一般質問は、2月22日・26日・27日の3日間で、11名の議員が質問を行いました。5日目(2月28日)、議案第7号から議案第30号までの質疑が行われ、令和6年度当初予算の7議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。定例会最終日(3月11日)の本会議において、予算審査特別委員会に審査が付託された令和6年度当初予算(議案第24号から議案第30号)の7議案は、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

また、最終日に市長提出議案1件(議案第11号)が追加提案され、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎白石市消防団員に関する条例の一部を改正する条例

地震や台風等の自然災害が激甚化・頻発化する中、地域防災の要である消防団員の処遇改善を図るため、出勤にかかる報酬額の見直しを行うことから、条例の一部を改正するものです。

◎白石市介護保険条例の一部を改正する条例

令和6年度から令和8年度までの第9期介護保険事業計画期間中における介護保険料について、今後の標準給付費見込額等に基つき算出するとともに、標準段階、標準乗率、公費軽減割合を、令和6年1月に公布された介護保険法施行令の一部を改正する政令に基つき定めることから、条例の一部を改正するものとす。

2月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
報告第1号	市長提案 損害賠償額の決定及び和解について	報告
議案第1号	教育長の任命について	同意
議案第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて(専決第12号) (令和5年度白石市一般会計補正予算)	承認
議案第4号	専決処分の承認を求めることについて(専決第1号) (令和5年度白石市一般会計補正予算)	承認
議案第5号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号) (令和5年度白石市一般会計補正予算)	承認
議案第6号	白石市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第8号	白石市地域公共交通会議設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	白石市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	白石市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	白石市企業版ふるさと納税基金条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	白石市市税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	白石市水道給水条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第14号	白石市消防団員に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第15号	白石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第16号	白石市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決

予 算

○令和5年度白石市一般会計
補正予算(第10号)

これまでの歳入歳出予算からそれぞれ3億5千227万円を減額し、予算の総額を213億1千405万円とするものです。

○令和6年度白石市一般会計
予算

予算総額は、169億2千577万1千円で、前年度と比較すると2.7%の減となります。

主な内容は次のとおりです。

○スマートインターチェンジ
及び周辺施設整備事業
10億8千256万4千円

○市制施行70周年記念事業
658万2千円

○病院事業会計負担金、補助金
出資金
12億4千614万6千円

○学びの多様な学校事業
2千779万6千円

○地球温暖化対策実行計画
策定事業 1千13万1千円

○小中学校施設照明LED
改修事業 3千16万4千円

○OECD教育プロジェクト事業
400万円

○学校給食費の値上げ補填事業
1千691万5千円

本会議質疑より

○白石市消防団員に関する
条例の一部を改正する条例

〔質疑〕消防団員の出勤報酬については、令和4年度に1回あたり3千400円から4千円に増額改正しているが、今回、8千円の改正に至った理由を伺う。

〔答弁〕近年、自然災害が激甚化・頻発化する中、消防団の活動も多様化し、さらには少子高齢化や人口減少により団員一人一人の負担が大きくなっていることから、その労苦に報いるため、1回の出勤時間が4時間以上の場合に、現行の4千円から消防団員の報酬等の標準額と同額の8千円へ増額改正するものである。

○白石市介護保険条例の一部
を改正する条例

〔質疑〕第1号被保険者の保険料について、今回の改正では保険料基準額は月額5千600円と据え置きになっているが、今後3年間の財政状況をどのように見込んでいるのか伺う。

〔答弁〕令和6年度から令和8年度までの3年間は、要介護認定者数が減少すると推計され、給付費の減少が見込まれることから安定的に運営を維持できるものと考えている。

○令和5年度白石市一般会計
補正予算(第10号)

〔質疑〕老朽化施設解体撤去工事を1億9千万円減額していることについて、「旧いきいきプラザの解体工事を国の補助事業に合わせたスケジュールに変更するため」との説明であるが、変更後の解体工事のスケジュールを伺う。

〔答弁〕国の補助事業である「空き家再生等推進事業」の活用を予定しているが、概算要望の照会が前年度の6月頃に予定されていることから、令和7年

議案第17号	令和5年度白石市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第18号	令和5年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第19号	令和5年度白石市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第20号	令和5年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第21号	令和5年度白石市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第22号	令和5年度白石市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第23号	令和5年度白石市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第24号	令和6年度白石市一般会計予算	原案可決
議案第25号	令和6年度白石市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第26号	令和6年度白石市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第27号	令和6年度白石市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第28号	令和6年度白石市水道事業会計予算	原案可決
議案第29号	令和6年度白石市下水道事業会計予算	原案可決
議案第30号	令和6年度白石市病院事業会計予算	原案可決
議案第31号	令和5年度白石市一般会計補正予算(第11号)	原案可決

※意見(賛否)が分かれた議案はありませんでした。

度の事業開始を目指し、調整を進めている。あるが、これまでの地権者説明会の状況を伺う。

〔質疑〕道の駅整備事業費について、国の「社会資本整備総合交付金」および「防災・安全交付金」の交付決定があったことから、令和5年度予算の土地購入費8千560万円を減額し、令和6年度に道の駅と防災公園の土地を購入することによって、地元の方々には絶大なご理解、ご協力をいただいております。



今回のスマートインターチェンジ・周辺整備事業への期待がうかがわれるところである。

◎令和6年度白石市一般会計
予算

〔質疑〕令和6年度の予算編成に当たっての所感を伺う。

〔答弁〕人口減少、少子高齢化に加え、物価高騰の影響等により厳しい財政状況であるが、「選ばれるまち白石」として発展していけるよう、目先のことだけではなく、10年、20年後のまちを見据えた政策を打っていくことが重要と考え予算編成を行なった。

令和6年度は、本市の重要施策であるスマートインターチェンジと周辺施設の整備が本格的にスタートする。

教育環境の整備や学校教育の充実では、1人1台端末によるA-ICTを活用するなど、個別最適な学びの充実を図っていく。

このほか、昨年4月から市立病院となった公立刈田綜合病院や、学びの多様化学校「白石きぼつ学園」が2年目を迎えることから、今後の安定的な事業運営に大事

な年になると考えている。

〔質疑〕公立刈田綜合病院への財政負担について、所感を伺う。

〔答弁〕公立刈田綜合病院は、これまで構成市町村からの多額の繰入金を前提とした経営を行なっていたことから、赤字が出た場合は、1市2町で負担をしていた。

令和6年度の一般会計予算の総額だけを前年度と比較するとあまり変化はないが、指定管理者制度を導入したことで赤字補填の不安がなくなり、財政運営の不安要因が少なくなったことは、今後の本市の財政運営にとって、非常に明るい見通しであると受け止めている。

〔質疑〕将来、安定した財源の確保と健全な予算編成を行うために、どのような体制・方策が必要と考えるか伺う。

〔答弁〕持続可能な財政運営のためには自主財源の確保が大切であると考えており、市税の収納率アップに取り組みほか、ふるさと納税寄付金の推進を図っている。

また、令和5年度からは仙台南

部工業団地への企業誘致も積極的に推進し、雇用創出などにより、新たな収入確保策に取り組みんでいる。

また、病院において指定管理者制度を導入した運営に切り替えたいように、民間の力を最大限活用していくことは大変重要であると考えている。

限りある財源を重点的、効率的に配分し、安定した市政運営を進めていくためには、選択と集中をより意識した財政運営が重要であると考えている。

〔質疑〕自治会や市民からの要望をどのように反映されたのか。予算化された事業等について伺う。

〔答弁〕市の各種事業には、社会情勢を勘案し、市民サービスを提供しているものも多数ある。その一つとして、住民票や各種証明書の発行が令和5年10月からマイナンバーカードを使用したオンライン申請が可能となった。

また、令和6年度当初予算には、令和7年度からの子ども医療費

助成の対象年齢を高校生まで引き上げるための準備経費を計上しているところである。

このほか、自治会や市民の要望全てに対応することは困難であるが、担当職員が現地を確認、安全性等を考慮し予算配分しており、令和6年度当初予算には、道路新設改良費、地方道路整備事業費、河川費の各種工事請負費などを計上している。

◎令和6年度白石市病院事業
会計予算

〔質疑〕指定管理2年目を迎えた公立刈田綜合病院の経営内容について伺う。

〔答弁〕地域になくはならない医療機関であり続けるため、令和6年度からは「公立刈田綜合病院経営強化プラン」に基づき事業を推進していく。

経営強化プランでは、「救急医療の取り組みの継続」「回復期医療の強化」「骨折や脊椎等の整形外科手術の実施」「周産期医療提供体制の構築」など、仙南医療圏

での病床機能の強化に取り組むこととしている。

さらに、指定管理者において、看護師等の医療従事者の確保・育成を実施し、現在休床している病床の再開をすることで経営の安定化を図っていく。

今後も毎月「管理運営協議会」を開催し、指定管理者と市がしっかりと連携しながら、市民が安心できる、持続可能な医療提供体制を構築し、地域医療を支えていきたいと考えている。



70th ANNIVERSARY

予算審査特別委員会

議案第24号・令和6年度白石市一般会計予算から議案第30号・令和6年度白石市病院事業会計予算までの計7議案について、定例会5日目(2月28日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・四竈英夫、副委員長・澁谷政義)は、3月6日に審査を行い、全ての議案について、採決の結果、全会致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和6年度白石市一般会計予算

総務費

〔質疑〕市制施行70周年記念事業補助金268万円の根拠について伺う。

〔答弁〕実行委員会を設置し、記念事業等の経費に対して補助金を交付するものである。

記念式典の会場使用料や記念品代、筆耕料、記念コンサートの会場使用料や謝礼等を積算している。

〔質疑〕スパッシュランドしろいしの施設管理委託料として1千500万円が計上されているが、今後の管理と運用方法について伺う。

〔答弁〕令和6年度も引き続き白石市文化体育振興財団による管理を予定している。

今後の運用方法については現時点で具体的な活用方法は決まっていない。

民間企業等から提案をいただきながら、引き続き活用方法について検討していきたい。

民生費

〔質疑〕児童措置費が前年度と比較して、7千262万3千円増額とした理由を伺う。

〔答弁〕国の少子化対策として制度改正される児童手当について、令和6年10月以降の所得制限の撤廃や18歳までの支給延長、第3子以降の児童への支給額が月額3万円に拡充されることに対応するもので、前年比4千881万円の増額となっている。

また、昨今の物価高騰から、私立保育園、認定こども園に給付する施設型給付費の国の単価改正により、前年比1千427万5千円を増額したことも要因となっている。

〔質疑〕子育て世帯支援事業実施委託料について、事業の詳細を伺う。

〔答弁〕市制施行70周年記念事業として、市民を対象にこじゅうろうキッズランドのパスポートと回数券を特別価格で販売

するため、運営するNPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘に業務を委託するものである。

販売価格は、パスポート3千円のところ1千円で限定50冊、回数券3千円のところ2千円で限定150セット販売する。

販売時期は6月頃を予定しており、市の広報やホームページに掲載するとともに、公式ラインやインスタグラムなどのSNSを活用し、広く周知を図っていく。

衛生費

〔質疑〕宮城県後期高齢者医療広域連合からの受託事業として33万7千円が計上されているが、事業の詳細を伺う。

〔答弁〕令和6年度からの新規事業として、宮城県後期高齢者医療広域連合の受託事業「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」を実施するものである。

具体的には、(※1)ポピュラー

シヨンプアプローチとして、「いきいき百歳体操通いの場」でおおむね6カ月程度、健康チェックや理学療法士等による健康教育運動の指導を実施する。

また、(※2)ハイリスクアプローチとして、数年にわたり健康診査や医療機関を受診していない方に対し、健康状態の把握や訪問などを実施する計画である。



(※1)

ポピュラーシヨンプアプローチとは？

地域や集団全体を対象に働きかけを行い、全体の健康リスクを下げる取り組み方法のことです。

(※2)

ハイリスクアプローチとは？

健康リスクの高い方を対象とした取り組み方法のことです。

令和6年度 一般会計予算 (単位：千円・%)

歳 出		予 算 額	構 成 比
款 別			
1. 議 会 費		158,130	0.94
2. 総 務 費		2,407,309	14.22
3. 民 生 費		5,429,735	32.08
4. 衛 生 費		2,127,820	12.57
5. 労 働 費		1,617	0.01
6. 農 林 水 産 業 費		318,870	1.88
7. 商 工 費		422,010	2.49
8. 土 木 費		2,743,951	16.21
9. 消 防 費		511,431	3.02
10. 教 育 費		1,482,426	8.76
11. 災 害 復 旧 費		3,026	0.02
12. 公 債 費		1,304,001	7.71
13. 予 備 費		15,445	0.09
合 計		16,925,771	

令和6年度 各会計予算 (単位：千円・%)

会 計 別	令和6年度 予 算 額	令和5年度 予 算 額	令和5年度 当初予算比	
一 般 会 計	16,925,771	17,393,450	△ 2.7	
特 別 会 計	8,308,068	8,258,014	0.6	
会 計 内 訳	国民健康保険	3,770,409	3,791,513	△ 0.6
	介護保険	4,020,175	4,002,216	0.4
	後期高齢者医療	517,484	464,285	11.5
	合 計	25,233,839	25,651,464	△ 1.6

企業会計

水道事業会計	1,289,675	1,272,464	1.4
下水道事業会計	1,830,966	1,810,131	1.2
病院事業会計	1,577,919	1,601,577	△ 1.5

※企業会計については収益的支出+資本的支出額

商 工 費

〔質疑〕近年、温暖化の影響により各地でスキー場の運営が不安視されている。
白石スキー場運営費貸付金に1千500万円を計上しているが、今後の白石スキー場の運営に対する見解を伺う。
〔答弁〕白石スキー場は、市内

小・中学校の利用や観光も含め、本市の大事な資源であると考えている。
また、従業員の9割が市内在住者であり、地元雇用の場としても重要な役割を担っている。
このことから、市の財政状況を踏まえて継続していきたいと考えている。

土 木 費

〔質疑〕スマートインターチェンジ整備事業の測量設計委託料について、「スマートインターチェンジと市中心部のアクセス向上を図る」とあるが、具体的な構想を伺う。
〔答弁〕道の駅に訪れた方の中心市街地への誘導や、工

業団地の企業誘致における通勤ルートの確保において、中心市街地へのアクセス向上は重要であると考えている。
スマートインターチェンジ周辺整備エリアから田町を通過し、白石駅を結ぶ新たな道路整備に向けて、令和6年度に現地測量を行いながら関係機関と協議を行い、最適なルートを検討を行うこととしている。

教 育 費

〔質疑〕経済協力開発機構が関わる「OECD教育プロジェクト事業」の詳細について伺う。
〔答弁〕パリのOECD本部から、担当職員が直接、本市に来庁され、参加の提案を受けたものである。

〔質疑〕防災公園の造成工事に自衛隊の受託を予定し、作業に必要な燃料費や現場事務所経費等を計上しているが、自衛隊の作業の詳細を伺う。
〔答弁〕防災公園は、災害時に自衛隊や消防、警察などの集結場所として活用を計画していることから、自衛隊に造成工事の受託を要望しており、現在は令和6年度からの工事着手に向けた協定の締結の協議を行なっているところである。

具体的には、国土交通省が行なっている丸森町の災害復

旧工事で生じる良質な土を利用し、造成盛土等を行っていたこととしている。
なお、用排水路などの構造物については、市が施工する予定である。

プロジェクトの概要は、AIを駆使してデータ分析を行い、通常の教科別の点数だけでなく、思考力や判断力等も含め、幅広い資質や能力を多様な観点からAIが分析するものである。即時性や継続的な学習評価も期待でき、教育委員会や学校にフィードバックされる事業である。
当国際プロジェクトには、OECD加盟国の複数の国が参加予定であり、日本におい

ては本市のほか、三重県松阪市が参加を検討していると伺っている。

〔質疑〕令和5年度当初予算と比較した、公民館指定管理者委託料の算定根拠を伺う。

〔答弁〕指定管理委託料は、館長や事務職員の人件費、謝礼や各種行事に関わる事業費、光熱費、通信運搬費等の管理経費を基礎として積算している。

令和6年度当初予算額が令和5年度と比較して増額した要因は、人件費とそれに関わる厚生費の増額によるものである。

昨今の人件費高騰を勘案し、令和6年4月より地区公民館長の報酬を600円、事務長の給料を月額3千円引き上げる。臨時職員の賃金は、宮城県の賃金単価の改定により、既に昨年の10月から40円の引き上げを行なっていることから、給料賃金とそれに関わる厚生費の増額分を合わせ、指定管理委託料として計上している。

〔質疑〕旧白川中学校体育館照明LED化改修工事に110万円を計上しているが、LEDにすることによる電気使用料金の見込みを伺う。

〔答弁〕旧白川中学校体育館の照明は、現在400ワットの水銀灯を使用しており、同ワット相当のLEDと比較すると消費電力は約3分の1以下になることが見込まれる。

令和5年度の電気使用料は月平均で約3万3千円であったことから、LED化により約1万1千円となり、年間で約26万4千円削減できるものと見込んでいる。

◎令和6年度白石市国民健康保険特別会計予算

〔質疑〕国民健康保険税1人当たりの平均額と、1世帯当たりの平均所得を伺う。

〔答弁〕令和6年度当初予算における1人当たりの国民健康保険税平均額は約7万4千円、1世帯当たりの所得額は約110万円となっている。

◎令和6年度白石市水道事業会計予算

〔質疑〕修繕費のうち、漏水にかかる費用について、積算根拠を伺う。

〔答弁〕漏水修繕費として2千145万円を計上しているが、過去の漏水修繕の実績から年間130カ所を見込み、算出している。

漏水修繕の実績については、令和4年度が125カ所、令和3年度が139カ所、令和2年度が141カ所となっている。

◎令和6年度白石市病院事業会計予算

〔質疑〕病院の非常用発電、消防設備の更新費用に8千92万6千円を計上しているが、詳細を伺う。

〔答弁〕非常用発電装置は、災害時等に通常の受電系統が使用できない場合に、自動的に切り替わることににより災害拠点病院として最低3日間の電気を賄うことができるものである。

現在の装置は平成14年の新

築移転時に設置したものであり、耐用年数を経過していることから、操作パネルや温度計などに不具合が出ている状態である。

また、非常用発電機が起動するまでの間、医療機器等に電気を供給する非常用蓄電池も、平成24年にバッテリー交換を行なつて以降、10年以上が経過していることから更新が必要となっている。

また、令和5年12月の消防用設備等点検の結果を受け、防火シャッターや火災報知設備等の更新が必要となっている。

〔質疑〕今後、経年劣化に伴い更新を検討しなければならぬ設備と、更新時期の見込みを伺う。

〔答弁〕令和5年度に施設診断を行なったところ、外壁の細かいひび割れ、鉄筋の露出、屋上のトップガラスのひび割れ等が確認されたことから、今後、検討が必要と考えている。

なお、医療機器の更新や新規購入については、基本協定上は原則、指定管理者が行うことになっている。

議会を傍聴してみませんか

～6月定例会は、6月17日(月) 午前10:00開会予定です～

氏名の記入など、簡単な手続きで傍聴ができます。
また、会議の様子はインターネット(YouTube)でライブ配信
しています。これまでの録画映像もご覧になれます。

- 2月定例会の傍聴者のべ人数 25人
- ライブ配信・録画視聴回数 2,589回



インターネット中継



傍聴のしかた

市政に 対する 代表質問・一般質問

〰〰〰 11名の議員が質問〰〰〰

2月定例会の代表質問・一般質問は、2月22日・26日・27日の3日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

〔代表質問〕

角張 一郎 令和6年度施政方針について

高子 秀明 令和6年度施政方針について

〔一般質問〕

四竈 英夫 能登半島地震に対する支援体制について

佐久間儀郎 フレイル予防と対策について

佐久間順子 災害発生時の要支援者対策について

大内 卓也 地域公共交通計画の施策推進について

大森 貴之 防災減災対策強化について

角張 大治 まちづくり協議会について

佐藤 龍彦 会計年度任用職員の処遇について

村上 由紀 災害発生時の女性や妊産婦・乳幼児への対応について

伊藤 勝美 市長の政治姿勢について

令和6年度施政方針について

角張 一郎



めの施策」を早急に実行しなければならぬ。

現在進めている(仮称)

白石中央スマートイン
ターチエンジとその周辺
整備事業は、本市が「選
ばれるまち」になるため
の起爆剤となる事業で
あると確信している。

工業団地の整備によ
って、人口減少対策とし
て最も重要な働く場が
生み出される。

道の駅と防災公園は
交流人口の拡大に寄与

し、本市の魅力を広く発
信することによって定
住人口の増加にもつな
がり、地域防災力を高
め、本市が「災害に強い
まち」として選んでいた
だける要因にもなるも
のと考える。

また、少子高齢化が

急速に進展する本市に
おいて、「子育て世代に
選んでいただけるまち」
になることが大変重要
であると考えている。

少子高齢化に歯止め
をかけるためには、白石
で出産ができ、安心して
子どもを育てられる体
制を確立しなければな
らない。今後もし育て
世代に重点を置いた施
策を進めていく。

今後、人口規模が減
少したとしても、しっか
りと行政が機能し、市
民が不安を感じること
なく安心して住み続け
ることができるよう白石市
に変えなければならな
い。そして、急激な少子
高齢化と人口減少に対
応するためには、前例に
とらわれず、市民の皆さ
まと知恵を出し合い、将
来にわたって持続可能
な白石市をつくるため、
新たな施策に挑戦して
いく。

〔質問〕「令和6年度に
おいても、引き続き市
政課題を先送りするこ
となく、本市が持続可
能なまちであり続ける
ために、市民の皆さま
と力を合わせて、積極
果敢に挑戦します。」と
決意を述べているが、本
市で抱えている市政課
題についての認識を伺
う。

〔答弁〕「市長」大小さま
ざまな市政課題を抱え
ているが、その多くは急
速な少子高齢化と人口
減少に起因しているも
のと認識している。

まずは、「人口減少を
食い止めるための施策」
「選ばれるまちとなるた

令和6年度施政方針について

高子 秀明



〔質問〕子ども・子育て支援の充実について、本市の子ども医療費助成制度を令和7年4月診察分から18歳の年度末までに拡充。その準備として、令和6年度は制度の構築や周知等に着手すると表明されたが、助成制度の拡充は大いに評価する一方、準備手続きに1年を費やすことに疑問を感じるため、説明を求める。

〔答弁〕【市長】子ども医療費助成制度拡充実施にあたっては、現行のシステムの改修、関係機関との調整等が必要となる。新年度夏ごろを目途に新たな対象者に通知し、申請書等の提出をお願いする予定である。現在受給中の方にも、有効期限を改めた受給者証を全受給者約4千人へ一斉に発送する作業があることなどから、事務作業量が多く、混乱なく事業をスタートするため、令和7年4月診療分からの実施を目指す。

特産野菜に関して、令和6年度からの生産量確保、栽培技術継承の見解を伺う。

〔答弁〕【市長】ピュアホワイトについては、おもしろいし市場の生産者部会で面積拡大や、以前作付けをしていた生産者にもお願いしているところである。また、認定農業者や市内直売所の生産者にも作付けのお願いを行なっており、数名から前向きな回答をいただいているところである。栽培技術の継承については、現在作付けをされている方から、栽培での注意点などを聞き取り、新規の生産者に指導をいただくとともに、宮城県大河原農業改良普及センターにご協力をいただき、栽培技術の講習会などを開催したいと考えている。

能登半島地震に対する支援体制について

四 電 英 夫



〔質問〕1月1日に発生した能登地震でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げ、二日も早い復旧復興をお祈りいたします。被災地に対する支援体制について伺う。

石川県能登町に決まった。能登町の要請により避難所運営支援、家屋調査と罹災証明発行業務として職員2名を派遣する。給水支援については要請があり次第対応していく。物的支援については、要請の取りまとめ先である宮城県に「飲料水、アルファ米、ゼリー」などを登録しており、要請があり次第発送できる。

一時避難所として公営住宅17戸を提供可能としている。義援金は公共施設に設置した募金箱や市職員からの義援金24万円余りを含む129万円余りを日本赤十字社宮城県支部を通じて寄付を行なった。

使う物品を購入し、代金の一時立て替え払いをする際、個人のクレジットカードやポイントカードを使用した事例があったが、所見と今後の方策を伺う。

〔答弁〕【教育長】小・中学校において物品を購入する際は、購入先から見積書を徴し決裁を受けた後、購入・精算となるが、急を要する場合は教職員が時間外や休日に店舗を回り、後日精算することもある。また、支払いの際、現金の持ち合わせがなく、やむなく個人のクレジットカードを使用したケースもあった。今後は改める必要があると感じている。

〔答弁〕【学校管理課長】オンラインでの立て替え払い購入は物品が早く安価に購入できる利点があるが、校長会等でごうした行為は行わないよう指示を行なっている。

フレイル予防と対策について

佐久間 儀郎



〔質問〕白石市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の一体的計画素案が示された。

高齢者福祉は、健康寿命の延伸を最重要目標にすべきと考える。

本市の平均寿命と健康寿命との年齢差を伺う。

〔答弁〕長寿課長「宮城県健康データによると、本市の令和2年の男性の平均寿命は80.98歳、健康寿命が79.34歳で年齢差は1.65歳。女性の平均寿命は87.72歳、健康寿命が83.99歳で年齢差は3.73歳である。

〔質問〕計画素案の67ページでは、「高齢者自身

が担い手となる活動の場や住民主体の通いの場の創設、担い手の養成に取り組み、フレイル予防と人材育成を図る。」としているが、具体手法を伺う。

〔答弁〕長寿課長「体組成計を導入し、いきいき百歳体操通いの場で利用。養成講座修了者は支援者として活躍いただいている。

〔質問〕健康と要介護の間の虚弱な状態と言われるフレイル予防には、健康長寿のためにも「栄養、社会活動、運動」の三つが重要と言われる。東京大学高齢社会総合研究機構長 飯島勝矢教授提唱の「フレイル予防ハンドブック」「フレイルサポーター養成テキスト」「フレイルトレー

ナー養成テキスト」を活用して、人材育成とともにフレイルチェックを市民運動に高めるべきと考える。全国100を超える自治体で導入、実施されているが、所見を伺う。

〔答弁〕市長「本市はフレイルなどの高齢者の特性を踏まえ、健康状態を総合的に把握する目的から、「健康状態、心の健康状態、食習慣、口腔機能、体変化、運動・転倒、認知機能、喫煙、社会参加、ソーシャルサポート」の10の分野の質問を用いて調査。フレイル状態の高齢者を適切な医療および介護サービスへつなげることに

により、フレイル予防、疾病予防および重症化予防を促進することを目指し、健康寿命の延伸につながることを目標としている。

〔その他の質問〕

◎地域ヘルパースタッフ

災害発生時の要支援者対策について

佐久間 順子



〔質問〕避難行動要支援者名簿は、要支援者であれば同意のない方も名簿を関係機関に配布している場合もある。

本市ではどのように運用しているか伺う。

〔答弁〕保健福祉部長「災害対策基本法により、緊急事態に限って自治会長、民生委員・児童委員のほか、警察署、消防署、消防団等の避難支援等関係者に対して避難行動要支援者名簿を提供する運用となっている。

〔質問〕個別避難計画の作成向上のために、どのようなことを実施しているか伺う。

〔答弁〕保健福祉部長「広報紙やホームページ等に掲載したり、今後、障害者手帳や要介護認定の申請者にチラシを配布するなど、作成率の向上につながるよう努めていく。

〔質問〕一般の指定避難所での避難生活が困難な要支援者については、個人の判断で直接避難できるのか。福祉団体等と福祉避難所と連携なども図られているのか伺う。

〔答弁〕市長「要支援者の避難を受け入れていただけるよう、市内に福祉施設や介護老人保健施設等を持つ福祉法人や医療法人等10団体と、災害時における避難行動要支援者の受け入れ等の協力に関する協定

を既に締結している。

二次的な避難所として、施設入所が適切であると判断される場合、各施設の受け入れ状況を確認した上で移送する体制となっている。

〔質問〕避難行動要支援者名簿および個別避難計画、要支援者対策の課題や今後の方針について伺う。

〔答弁〕市長「避難行動要支援者名簿の個別避難計画は避難支援対策の一つであり、「自助・互助・近助」が非常に大切であると考ええる。災害を他人事ではなく自分事として捉え、減災意識を高め、自治会や自主防災組織、民生委員、児童委員と連携しながら、地区で避難行動要支援者の状況や地域の実情に応じた支援が円滑に受けられるよう、計画の作成を支援していく。

地域公共交通計画の施策推進について

大内 卓也



事業計画を整備するか
伺う。

〔質問〕計画策定にあたり、行政区・各地域への
ニーズ調査集計、公表
は行われているか伺う。

〔答弁〕「まちづくり推
進課長」令和5年3月に
地域公共交通のマスター
プランとなる新たな
地域公共交通計画を策
定。調査結果は白石市
地域公共交通計画に記
載。市ホームページでも
公開している。

一例として、市民バス
の満足度は「運賃」「目的
地までの時間」が高く、
「鉄道との乗り継ぎ」「待
合空間」「運行時間帯」
の満足度が低い傾向で
ある。

〔質問〕事業を展開する
にあたり、具体的な年次

画に盛り込むことができ
る。地域の取り組み
をこれからも全力で支
援していく。

〔質問〕他の地域候補が
あるか。あるのであれ
ば、次はこの地域が
候補かを伺う。

〔答弁〕「まちづくり推
進課長」小原地区は4
月から「おらいのくるま」
の本運行を予定。加え
て白川地区で住民主体
の地域内交通の導入を
検討したいという申し
出を受けている。

〔質問〕隣接市町との公
共交通相互接続の充実
は構想にあるか伺う。

〔答弁〕「市長」市民バス
の市外への運行拡大は
構想にはない。住民主
体の地域内交通など、
多様な交通主体との連
携を図り、地域の移動
を支える仕組みづくりに
を推進する。持続可能
な地域公共交通を確保
していきたい。

防災減災対策強化について

大森 貴之



〔質問〕木造住宅耐震診
断助成事業は、令和6
年度以降も継続される
のか伺う。

〔答弁〕「市長」令和6年
度の当初予算に計上し
ており、事業を継続実
施する。

〔質問〕本事業対象家屋
基準は、昭和56年以前
に建築した住宅である
が、建築年を「福島県沖
地震以前」とすべきと考
える。見解を伺う。

〔答弁〕「市長」耐震診断
助成の基準緩和は全国
統一的に実施すべきもの
と考える。本市は継続
実施していく。

〔質問〕避難所の点検整
備、耐震診断の現況を
伺う。

〔答弁〕「危機管理課長」

か伺う。

〔答弁〕「市長」流域全体
の水害リスクを軽減す
るため、雨水管理総合
計画を策定していく。

〔質問〕覆蓋がある側溝
の点検、清掃は、行政が
対応すべきと思うが見
解を伺う。

〔答弁〕「市長」緊急性の
あるものは直ちに対応
し、機能保全に努める。

〔質問〕市管理河川のし
ゅんせつについて伺う。

〔答弁〕「市長」引き続き
緊急浚渫推進事業債等
を活用し、関係機関と
連携し推進していく。

〔質問〕配水管の耐震管
等への切り換え作業の
今後の実施について伺
う。

〔答弁〕「市長」水道ビジ
ョンや経営戦略に基づ
き、更新を進める。

〔質問〕带状疱疹予防ワ
クチン接種の補助につ
いて伺う。

〔答弁〕「市長」国へ要望
を続けるとともに、動向
を注視しながら検討す
る。

まちづくり協議会について

角張 大治



この意見が挙がっていった。

◎白石地区地域づくりフォーラムの進め方について

〔質問〕白石地区でもまちづくり協議会が必要だという声が上がっているか何う。

〔答弁〕「まちづくり推進課長」単独自治会では対応しきれないこと

もあるため、自治会の枠を越え、地域内の各種団体等とも連携した地域づくり体制(まちづくり協議会)が必要という声は出されている。

〔質問〕単独自治会で対応しきれない事例を伺う。

〔答弁〕「まちづくり推進課長」子どもの減少で子ども対象の事業ができない」「若者組織の解散」「春まつり・市民体育大会の参加が難しい」

〔答弁〕「市長」どの時代も世代間ギャップは存在する。溝を埋める努力が大切だと考える。

市では、今後立ち上がっていくまちづくり協議会が、継続して意見交換の場を作っていくけるよう支援したい。

〔質問〕次回、会議やフォーラムを開催する際は、これまでの意見の考察やアドバイス等のフィードバック、開催のねらい等を明確にした上で進める必要があると思うが、市の後方支援の必要性を伺う。

〔答弁〕「市長」白石地区のまちづくり協議会の必要性について、一定の機運醸成が図られてきている。今後はこれまでの話し合いを通して、白石地区としてどのような組織を目指すか等、体制立ち上げに向けた具体的な話し合いや取り組みを進められるよう、市として支援したい。

会計年度任用職員の処遇について

佐藤 龍彦



〔質問〕会計年度任用職員とは、一般的には4月1日から翌年の3月31日までを任期として任用され、業務繁忙期や職員に欠員が生じた時などに職員の補助として働く非常勤職員のこと、職種によっては一年より短いケースもあり、勤務成績や希望に応じて更新もある。勤務形態はフルタイムおよびパートタイムとなっている。

〔答弁〕「総務課長」本市の会計年度任用職員は令和5年4月1日現在で160人となっている。

内訳は、フルタイム会計年度任用職員が45人、パートタイム会計年度任用職員が115人となっている。

〔質問〕会計年度任用職員の職種を伺う。

〔答弁〕「総務課長」主な職種として、一般事務が39人、保育園関係は保育士や保育補助、業務員、調理員なども含み54人となっている。

〔質問〕県内自治体における会計年度任用職員の給与改定の遡及への対応について伺う。

〔答弁〕「総務課長」宮城県が調査した、仙台市を除く県内自治体における会計年度任用職員の給与改定の遡及適用に関する検討状況によると、令和5年12月14日時点で、令和5年4月

に遡及して給与改定する自治体が25団体、令和5年12月からの改定見込みが1団体、令和6年1月からの改定は本市1団体となっている。また、令和6年4月から改定見込みが7団体となっている。

〔質問〕会計年度任用職員として継続任用されなかった場合、再就職の支援はされているのか何う。

〔答弁〕「総務課長」会計年度任用職員は、一会計年度内を任期とする非常勤職員であるが、翌年度以降も同一の職が引き続き必要である場合、任用されていた方の人事評価に基づき、2回までの任用を可能としている。その後は、公募による募集、選考となることから、再就職の支援は行なっていない。

◎公立刈田綜合病院と地域医療について

災害発生時の女性や妊産婦・乳幼児への対応について

村上由紀



〔質問〕内閣府の調査で、避難生活を送る女性や妊産婦、乳幼児向けの備蓄が全国の自治体で進んでいないことが公表された。

本市の女性や妊産婦用品の備蓄状況を伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕生理用品以外の備蓄品はないが、企業（みやぎ生活協同組合など）と災害時における応急生活物資の供給協力等に関する協定を結んでおり、協力体制を整えていく。

〔質問〕乳児用備蓄品について伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕液体ミルク48本のみ備蓄している。保健担当部署と連携を図り、備蓄を検討していく。

〔質問〕アレルギー対応の食糧備蓄品を伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕全てのアレルギーに対応することは難しいが、備蓄に努めていく。

〔質問〕避難所での更衣室や授乳室など、女性に配慮した設備について伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕プライベートに配慮したスペースの確保、トイレは男女別の表示をし、区分けする。

〔質問〕避難所への女性職員の配置を伺う。

〔答弁〕〔市長〕各避難所へ女性職員の配置を定め、定期的に市保健師の巡回も行う。

〔質問〕災害時の公立刈田総合病院の妊産婦・乳幼児の受け入れ体制について伺う。

〔答弁〕〔病院事業管理室長〕現時点では対応できないが、他病院との

連携の構築も進めるよう考えている。

〔質問〕災害時の公立刈田総合病院の補助電源・水の確保について伺う。

〔答弁〕〔病院事業管理室長〕非常用発電機を保有しており、最低3日間の電気を賄うことができる。水については自己水源地下水を保有しているが、断水時は給水車による補給対応も想定している。

〔質問〕九州北部豪雨の際に開所した妊産婦や女性向け災害支援センターについて、本市でも設置が必要と考えるが見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕施設、スタッフの確保など課題があるため、先進地の事例を研究していく。

〔質問〕妊産婦や乳幼児の避難体制整備について見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕要配慮者として、高齢者などの避難行動要支援者と同様に支援対策を行う。自助・共助・公助の連携の輪を広げ、防災力を高めていく。

市長の政治姿勢について

伊藤勝美



〔質問〕市長の任期も残すところ数カ月であるが、2期目の候補者選挙公報で、市民に4つのお約束として「市民の健康推進」「子どもは未来の宝」「豊かさを実感できるまちづくり」「選ばれる白石市を実現」と掲げ、また、「地域医療の充実と、企業誘致を加速させます」とも掲げられていた。「市民の健康推進」のうち、公立刈田総合病院については「周産期医療復活と診療科の充実」とあるが、現在までの実績と自己評価について伺う。

〔答弁〕〔市長〕白石市外二町組合を解散し、本市が病院事業を継承する形で指定管理者制度

を導入し、指定管理者である医療法人仁誠会の取り組みの強化により、医療収支や救急患者の受け入れ、病棟稼働率は大幅に改善している。また、指定管理者制度導入以前より院内の雰囲気も良くなり、スタッフ間のコミュニケーションも円滑になったと報告を受けている。このような成果からも、指定管理者制度の導入は間違いなく、持続可能な地域医療の提供に資するものであり、今後も指定管理者とともに、地域医療提供体制の充実を図りたいと考えている。

〔質問〕周産期医療復活については、どうなされるのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕指定管理の審査会において、医療法人仁誠会から公立刈

田総合病院でお産ができる環境の復活をする

と提案をいただいております。現在、準備が進められて

いる。少子化の流れを食い止めるためにも、

安心して赤ちゃんが産める環境を作り上げていくことが重要な政策

である。

今後、この信念のもと、医療法人仁誠会ともしっかりと協議をし、復活に向けて力を尽くしたいと考えている。

〔質問〕市政運営にあたり、政治姿勢はどのようなものを柱に据えてきたのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕課題を先送りしないことが政治理念、政治姿勢である。公立刈田総合病院の公設民営化を二丁目一番地として市民の皆さまに公約として掲げ、二期目を務めているが、現在、運営状況は安定している。

残された任期を一杯、最後まで全力を尽くす。

人事

2月定例会において、次のとおり任命・推薦することに同意しました。

〔教育長〕

(任期：令和6年4月1日～令和9年3月31日)
半沢芳典氏

〔人権擁護委員〕

(任期：令和6年7月1日～令和9年6月30日)
日下嘉充氏

白石市議会会議録を公開しています

白石市議会 会議録

検索

市議会のホームページに会議録を公開しております。
キーワードでの検索のほか、会議・発言者・期間でも検索できます。

◆◆◆ 令和5年 議会の活動状況 ◆◆◆

令和5年は、4回の定例会（2月・6月・9月・12月）と3回の臨時会（4月・8月・11月）が開催されました。その概要は次のとおりです。

◎議会の開催状況

会議名	招集回数	会期日数
定例会	4回	76日
臨時会	3回	3日

会議名	開催日数	会議名	開催日数
本会議	24日	特別委員会 予算審査	6日
		特別委員会 決算審査	1日
議会運営委員会	20日	特別委員会 スマートインターチェンジ設置推進	1日
常任委員会	9日	委員会等 議会広報委員会	9日
		委員会等 議会改革推進会議	13日
	7日	委員会等 政策企画調整会議	3日

◎提出議案の状況

[単位：件]

市長提案議案							
条例	予算	人事	契約	専決	決算	その他	計
35	40	10	3	11	4	8	111

議員提案議案					請願
条例	意見書	決議	その他	計	
3	3	0	1	7	0

◎議案等の議決状況

[単位：件]

原案可決	同意	認定	承認	採択	不採択	否決	計
94	10	3	11	0	0	0	118

◎議会の傍聴者数

男	女	計
63人	28人	91人

令和6年能登半島地震の義援金

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災者支援のため、白石市議会は2月28日に義援金20万円を、北信越市議会議長会が開設した義援金口座に振り込みました。

このたびの地震により被災された皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福と被災地における早期の復旧・復興をお祈り申し上げます。

市民との意見交換会を開催しました

3月17日(日)、白石市中央公民館を会場に市民とのワークショップを行い、のべ41人の皆さまから参加をいただきました。

詳しい内容は、市議会のホームページ(5月中を予定)や次号の議会だよりなどでお知らせいたします。

編集後記

新年度がスタートして1カ月となりました。

2月定例会では、令和6年度一般会計予算の審査をはじめ多くの議案が慎重に審議されました。議決された議案は、市民の皆さまの生活に直結する重要なものです。

また、代表質問・一般質問においては、11名の議員が登壇し、市政に対して活発な議論が交わられました。

紙面の都合上、掲載できる内容に限りはありますが、今後も「市議会だより」を通じて、市議会が市民の皆さまにとって、より身近に感じていただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

議会広報委員会

佐藤 龍彦

議会広報委員会 委員

委員長	四電 英夫
副委員長	村上 由紀
委員	佐藤 龍彦
委員	高子 秀明
委員	大森 貴之
委員	角張 大治
委員	大内 卓也
委員	佐久間 順子